

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	リニア見学センター	所管課	リニア交通課
所在地	都留市小形山2381	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年3月28日
管理方式	指定管理者(都留市、平成18年4月1日～平成23年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立リニア見学センター設置及び管理条例		
設置目的	より多くの人にリニアモーターカー及び山梨リニア実験線をわかりやすく紹介し、リニア中央新幹線の早期実現に向けて広く普及啓発するため、リニア見学センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	1階:事務室・売店(219.26㎡) 2階:展示室(144.18㎡) 3階:展望室(111.49㎡)		
主な業務内容	(1)リニアモーターカーに関する情報の収集及び提供に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	利用者数	98,538	102,986	105,539	
	利用者数合計	98,538	102,986	105,539	
	目標値	81,000	81,000	85,000	85,000
	目標値設定の考え方	・超電導リニア試乗会が終了したことから、前年度実績から前年度試乗者数を減じた数値とした。	・前年度と同様な考え方であり、リニア試乗会の再開も考えられないことから目標値は前年度は前年度と同様とする。	・リニア試乗会の再開も考えられないが、前年度より実績5%の増が図られたことから目標値についても前年度の5%増とする。	・22年度もリニア試乗会の再開は見込まれないうえ、走行試験日も不定期のため前年度と同数とする。
	対19年度比	100.0%	104.5%	107.1%	86.3%
	稼働率	-	-	-	-

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	18,071,000	18,000,000	18,000,000	18,059,000
	その他(都留市一般財源)	60,940	0	16,590	
	収入合計(A)	18,131,940	18,000,000	18,016,590	18,059,000
支出	人件費	5,969,012	5,715,000	6,039,719	5,715,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	12,162,928	12,285,000	11,976,871	12,344,000
	(うち外部委託費)(B)	2,235,022	2,536,000	2,156,903	2,536,000
	支出合計(C)	18,131,940	18,000,000	18,016,590	18,059,000
収支差額(A-C)		0	0	0	0
外部委託比率(B÷C)		12.3%	14.1%	12.0%	14.0%
利用者一人当りの経費		183	175	171	212

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月 実施方法:来館者へのアンケート 回答数:474人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分
①施設の整備状態	84.0%	7.2%	8.8%
②展示品の充実度	74.7%	11.0%	14.3%
③リニアへの理解度	57.0%	34.4%	8.6%
④施設全体の満足度	85.0%	11.2%	3.8%
各項目の平均	75.2%	16.0%	8.9%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内が清潔</li> <li>・リニアの走行の仕組みが理解できる解説が良かった。</li> <li>・展示物の充実、実物車両の展示</li> <li>・2,3ヶ月先の走行スケジュールの公表、休日での走行試験実施及びリニア試乗会の開催</li> <li>・トイレの洋式便器の増設</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も利用者の生の声を聞き、改善できる点はしていきたい。なお、超電導リニアについては、事業者であるJR東海の意向により決定するため、当センターとしては改善困難な点が多々ある。</li> </ul>

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。
自主事業	計画どおり各事業を実施することができた。昨年度より利用者が増加傾向であり、今後も継続したい。	計画どおり適正に実施されている。
利用状況	利用者数の大幅な増加は困難だが、地域の団体などへのPR活動に努め、事業計画の目標は概ね達成できた。	パンフレット配布等引き続きPR活動に努めること。
収支状況	修繕費が計画より大幅に増えたが、節電の徹底などにより経費の節減に努めた。	引き続き経費節減に努めること。
利用者満足度	早急に対応できる利用者の声については、対応を行った。今後とも利用者の声を聞き、改善できる点は行き、より一層のサービス向上に努めていく。	早急に対応できる利用者意見については、速やかな対応がなされた。引き続き利用者ニーズの把握に努め、管理運営に反映させるよう指導した。
運営目標の達成状況	<p>○パンフレット配布等広報活動を積極的に実施し、来館者数も10万人を超え目標を達成した。</p> <p>○JR東海による試乗会の再開が見込まれないうえ、走行試験日も不定期のため、今後の入館者数の大幅な増加については不透明である。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>施設管理・運営業務等について、条例、協定及び提案等に基づき概ね適正に履行した。利用者については、リニア試乗会が行われていないにもかかわらず、平成21年度も20年度に引き続き10万人を超えた。県内の各施設、観光案内所、県内外の旅行会社等へのパンフレット配布等の広報活動を行い利用者増加に向け努力した。今後も引き続きリニアモーターカーに関する知識の普及及び啓発を図り、リニア中央新幹線の早期実現に向けて、広く学ぶ機会を提供すること。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>今後も施設管理・運営業務等について適切に履行し、リニアモーターカー及び山梨リニア実験線をわかりやすく紹介し、リニア中央新幹線の普及・啓発に努める。</p>	

7. 管理体制(組織図)

